

会 議 録

- 1 付属機関の会議の名称 令和元年度 第2回国民健康保険運営協議会
- 2 開催日時 令和元年12月12日（木）午後1時30分から午後2時40分
- 3 開催場所 妙高市役所3階 303会議室
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員（12名 敬称略）
須山君子、清水京子、前島順子、塚田智成、永野和久、寺澤正貴、
和泉伸一郎、宮下京子、須崎朋子、堀川香奈、橋爪隆之、小室 隆
 - (2) 執行機関（事務局 5名）
今井健康保険課長、田中課長補佐、西條係長、新井主査、川瀬主事
- 5 欠席した者の氏名（3名 敬称略）
森山由美子、櫻井新樹、工藤 悟
- 6 開 会 午後1時30分
- 7 会長挨拶 和泉会長
- 8 議事録署名委員の指名
会長より清水京子委員が指名された。
- 9 議 事
 - (1) 妙高市国民健康保険の現状について
 - (2) 広域化後の県内市町村の状況について
- 10 会議資料の名称
 - ・資料1 妙高市国民健康保険の現状について
 - ・資料2 広域化後の県内市町村の状況について
- 11 発言の内容
 - (1) 妙高市国民健康保険の現状について

資料に基づき、事務局より説明

(質疑)

委員 令和元年度の10月末の被保険者数で平成30年度と比較して4.4%減少となっており、市全体の人口の減少割合とは違っているが、定年延長や再雇用の制度が始まった時期等の影響はないか。

事務局 減少の要因としては、後期高齢者医療保険に異動される割合が高いため。

委員 国民健康保険に新たに入ってくる被保険者数は少ないのか。

事務局 転入と転出、出生と死亡を比較しても加入は少ない。

委員 他の市町村と比較して、国民健康保険税の徴収率はどうか。催告方法や回数が違うのか。

事務局 当市の場合、国民健康保険税の賦課は健康保険課で行い、税金の収納や徴収事務については市民税務課収納係で担当している。まず、健康保険課では窓口で国民健康保険加入の手続き時に、国民健康保険税の説明を行い、その際に口座振替を勧めている。税金の納付については、市民税務課収納係で納期現から20日以内に未納者へ督促状を送付しており、事情により納付が困難な方については納税相談を行い、分納等により納付していただいている。市民税務課では徴収嘱託員を雇用し、職員とともに電話や訪問等により税の催告や徴収を行っているが、徴収率はなかなか伸びていかない状況となっている。

委員 特別交付金の中に保険者努力支援の交付金があるがどのようなことを評価しているのか。県の中では何番目となっているか。

事務局 保険者努力支援制度は国保の制度改革により新たに設けられた制度で、各市町村の特定健診受診率やがん検診受診率、国民健康保険税の徴収率、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の使用割合、糖尿病の重症化予防等のほか各種取組みの状況の評価され、得点をつけられる。市町村ごと、都道府県ごとに評価され、当市は平成30年度県内4番目となっている。保険者努力支援制度の評価項目や配点は、毎年見直しが行われ変わってくる。ジェネリック医薬品は目標値が国で定めた80%以上となっている。

委員 資料2ページの国民健康保険特別会計 決算額の平成30年度歳入の国民健康保険税「490,140千円」と資料4ページの国民健康保険税 徴収率等推移の平成30年度収納額「489,960,303円」との違いは何か。

事務局 4ページの収入額については表の下に※で記載があるが、還付未済額を減算している。還付未済額は税額の更正等により還付が発生し、年度内に還付ができなかった場合、収入済の額が歳入に計上されていることになる。

委員 国民健康保険特別会計としてはどちらの金額が正しい金額か。

事務局 平成30年度決算の金額では2ページの「490,140千円」となる。

委員 ジェネリックの使用割合が80%とあったが、様々な事情がありジェネリックにできないかたもいるがどうなのか。

事務局 平成30年度では県平均が75.6%。当市は79.7%で県内20市中5番目となっている。他県との比較については分からない。

委員 健康保険組合でも76%と同じくらいの割合になっている。薬剤の金額は年間4,000万円程度だが、ジェネリック可能となる金額は50%程度である。その内、使用件数の割合は76%となっていて、使用金額の割合は60%となっている。

(2) 広域化後の県内市町村の状況について

資料に基づき、事務局より説明

(質疑)

委員 一人当たりの保険税で粟島浦村が10万円を超えているが、収納率は100%となっている。被保険者の数も関係していると思うが、妙高市は調定額に対して全体の収納率が78%であり、滞納額が1億円以上となっている。徴収等で努力しているのは分かるが、意見として今後も収納率の向上についてさらに努力をしてほしい。

委員 一人当たりの保険税は県内でも低くすばらしい。保険給付費はやや高めとなっているが、地域的な影響等があるか。

事務局 保険給付費については、医療体制はもちろんだが高齢化率や介護サービスの整備状況等も影響してくる。介護施設が利用できない地域では医療費が高い傾向がある。当市は高齢化率が県内でも高く、介護施設の整備を早くから進めてきており、介護保険と医療保険とのバランスのとれた標準的な地域ではないかと思われる。

12 その他

- ・今後の会議予定について

第3回運協は税率の諮問が予定され、その後答申の方向性を検討。

第4回運協では答申案を決定し、会長より市長へ答申予定。

第5回運協では、令和2年度の予算、事業計画についての審議。

13 閉会 午後2時40分

上記に相違ないことを確認する。

令和 年 月 日

妙高市国民健康保険運営協議会

会長

令和 年 月 日

議事録署名委員